

令和7年度入学試験問題

受験上の注意

1. 監督の指示により、解答用紙に受験番号（算用数字）、氏名、フリガナ、解答する科目を記入し、受験番号、該当する試験日、解答する科目をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
2. 問題冊子の解答番号と解答用紙の番号を間違えないように注意してください。
3. 科目およびページは、次のとおりです。試験開始の合図があったら、まず受験する科目のページ数を確認してください。

| 科 目 | ペ ー ジ |
|-------|-------|
| 日 本 史 | 2～16 |
| 世 界 史 | 18～39 |
| 地 理 | 42～62 |
| 政治・経済 | 64～77 |

4. 受験票を試験時間中は、机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
5. 質問、その他用件があるときは、手を挙げて合図してください。
6. 試験時間中の退場は認めません。
7. 試験時間は60分です。
8. この問題冊子は持ち帰ってください。

開始の合図があるまで開かないでください

世界史

〔 I 〕 次の文章は、矢野道雄『星占いの文化交流史』（勁草書房）の一節である（省略や書き改めた箇所がある）。この文章を読み、下記の問1～問10に答えなさい。解答番号は ～

占星術が起こったのは紀元前8世紀ごろの^(a)メソポタミアである。その数理化が進んでホロスコープ占星術へと発展していったのは紀元前5世紀の後半であった。やがて^(b)アレクサンドロス大王の東征の後の、いわゆるヘレニズム世界においてギリシア文化と東方の文化が融合し、占星術はいっそうの発展をとげた。ヘレニズムはギリシア、メソポタミア、^(c)エジプトという3つの古代文明の受け皿であった。ヘレニズムの占星術が最高潮に達したのが、2世紀のアレクサンドリアにおいてであり、それがほぼ完成した様子はプトレマイオスの占星術書『テトラビブロス』に見られる。^(d)2世紀の少し前には、地中海とインド洋を結ぶ海上貿易が発達し、ヨーロッパとインドの間を交易品が行き交うようになった。このとき地中海世界からインドに輸入されたものの一つがホロスコープによる出生占星術だった。もともと占星術が盛んであったインドでは、この新しい占いがまたたく間に流行した。そのピークを形成したのが6世紀中ごろの宮廷占星術師であり天文学者のヴァラーハミヒラである。インド化したホロスコープ占星術は仏教とともに中国に伝えられた。中国ではさほど大きな影響を残さなかったが、平安時代の日本では大流行することになった。

一方ローマ帝国が東西に分裂したあとは、ヘレニズムの科学は 派のキリスト教徒が担うことになったが、その一部はシリアから^(e)ササン朝へと流れていった。ササン朝では国教である 教の文化が栄えていたが、インドとの交流もあり、小規模ながら東西の文化が融合しはじめていた。しかしやがてイスラーム教がおこり、急速に拡大し、イスラーム世界がヘレニズムの科学の受け皿になった。^(f)イスラーム科学は中世ヨーロッパへと逆輸入され、ルネサンスのさきがけとなり近代科学につながっていく。イスラームの占星術も科学の一分野としてヨーロッパに伝えられた。元・明時代には中国にも伝えられた。さらにインド亜大陸でも^(g)ムガル帝国時代にはイスラーム科学はインドの伝統科学に溶け込んでいった。このように、紀元前8世紀から近代科学が広がる時代までの、ユーラシア大陸全体にわたる東西の文化交流のなかで占星術が果たしてい

た役割を紹介し、文化交流史の新たな視点を提供するというのが本書の概要である。

この交流の概略を凝縮したような一枚の図が京都の東寺にある。「火羅図」と呼ばれるのがそれである。図の隅に「永萬二年」の銘があるから、西暦1166年のものであり、密教占星術が最も流行していた時期にあたる。この「火羅」ということば自体が、文化交流の足跡をしっかりととどめている。これは の「ホーラー」の音訳にほかならない。

仏教とともに中国を経てはるばるインドから伝えられたこの語は、さらに古く、ギリシア語まで ^{さかのぼ} 遡る。ギリシア語の「ホーラー」は、時間的には一日の24分の1であり、現在の時刻法の1時間に相当し、英語のhourの語源になっている。空間的には、1時間に天球が回転する角度、すなわち15度に相当する。さらにこのような背景のもとに、^(h)惑星の位置関係を示した図を英語で「ホロスコープ」と呼ぶが、その前半の「ホロ」も「ホーラー」に由来している。インドの「ホーラー」はこれらの意味を保存しているが、それに加えて、西方起源の新しい占いのシステムそのものをもさすようになった。そこで「ホーラー学」といったタイトルの の書物も残されているのである。東寺の火羅図は、空間的・時間的単位という本来のギリシア語の意味は抜け落ちているが、インド的な広い意味での「ホーラー」を見事に表している。

(矢野道雄『星占いの文化交流史 新装版』勁草書房、2019年。
省略や書き改めた箇所がある。)

問1 下線部(a)に関連し、次に述べた文①～⑤から誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① シュメール人によって六十進法が発明された。
- ② シュメール人によって太陰暦が初めて採用された。
- ③ 楔形文字は、22文字の子音で構成され、のちにアルファベットへ発展した。
- ④ この地で同害復讐の原則による法がつけられた。
- ⑤ この地にジグuratが建てられた。

問2 下線部(b)について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ギリシア北方のハンガリー王国の王であった。
- ② その父は、フィリッポス2世である。
- ③ 軍隊を引き連れアルプス山脈を越えてアケメネス朝と争った。
- ④ カイロネイアの戦いでダレイオス3世の軍を撃破し、エジプトに進入した。
- ⑤ 大王急死の後に後継者を名のり抗争した部将たちを、ペリオイコイと呼ぶ。

問3 下線部(c)に関連し、次に述べた文 a・b の正誤を判断し、下記の指示に従って、その番号をマークしなさい。

a テーベにあるクフ王のピラミッドは、現存するピラミッドの中では最大規模である。

b 古代エジプトにおいて、太陽神は崇拜の対象となった。

a と b がともに正しい場合は……①をマーク

a と b がともに誤りの場合は……②をマーク

a が正しく b が誤りの場合は……③をマーク

a が誤りで b が正しい場合は……④をマーク

問4 下線部(d)について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① この貿易の主要ルートとしてアッピア街道が整備された。
- ② カーリミー商人が活躍した。
- ③ この頃、『大旅行記』（『三大陸周遊記』）が著された。
- ④ 季節風（モンスーン）を利用した交易であった。
- ⑤ 隊商交易とも呼ばれた。

問5 に入る宗派とに入る宗教名の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ア：アタナシウス イ：ゾロアスター
- ② ア：アタナシウス イ：ミトラ
- ③ ア：アリウス イ：ゾロアスター
- ④ ア：アリウス イ：ミトラ
- ⑤ ア：ネストリウス イ：ゾロアスター
- ⑥ ア：ネストリウス イ：ミトラ

問6 下線部(e)について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① アケメネスによって建国された。
- ② クテシフォンを都とした。
- ③ ホスロー1世は、ローマ皇帝ヴァレリアヌスを捕虜にした。
- ④ ニハーヴァンドの戦いでクシャーナ朝に敗れた。
- ⑤ シャープール1世は、ビザンツ帝国のレオン3世に敗れた。

問7 下線部(f)に関連し、次に述べた文①～⑤から誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① アッバース朝のカリフであるハールーン=アッラシードは学芸を奨励した。
- ② アリストテレスのギリシア語文献が翻訳され研究された。
- ③ バグダードに「知恵の館」が設立され、哲学・科学の発展に貢献した。
- ④ イブン=シーナー（アヴィケンナ）は、医学書として『天工開物』を著した。
- ⑤ 詩人でもあったウマル=ハイヤームは、天文学に通じ、暦の制定にも関わった。

問8 下線部(g)について述べた次の文 a・b の正誤を判断し、問3の指示に従って、その番号をマークしなさい。

- a 帝国史上、アウラングゼーブが領土を最大に広げた。
- b パーニーパットの戦いでアクバルが勝利した。

問9 は、仏教とも関連の深い、古代インドで用いられた言語名である。
 に入る語として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① アッカド語 ② サンスクリット語 ③ ソグド語
- ④ タミル語 ⑤ ラテン語

問10 下線部(h)は天文学が扱う領域である。これに関連し、次の①～⑤の天文学者から活動時期が最も遅いものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ガリレイ (ガリレオ=ガリレイ) ② コペルニクス
- ③ ニュートン ④ プトレマイオス
- ⑤ フォーリスミー

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問1～問10に答えなさい。解答番号は ～

ヨーロッパの拡張は、主としてふたつの方向に向けられていた。まずアジアである。
(a)スエズ運河の開通〔1859～69年〕以来アジアは近くなっており、日本とは強制的に関係が樹立されたほか、中央部、すなわち(b)アフガニスタンとペルシア（イラン）は英国とロシアの競合の対象になり、中国では、ヨーロッパ列強ならびにアメリカ合衆国と日本が、共通の利害の名のもとに行動したり衝突したりしていたし、インドシナは に征服されていた。

他方、(c)拡張はアフリカにも向けられた。(d)アフリカの大半は、英国とフランスが、たがいの摩擦もあったとはいえ、併合していた。また、(e)赤道アフリカの主要部分はベルギーの支配下に入り、 はカメルーンと南西アフリカを植民地化し、イタリアは、 を征服しようとして失敗したものの、リビアを占拠した。(f)20世紀初頭、旧世界はこうしてヨーロッパ諸国家の影響下におかれた地帯に分割され、列強には、朝鮮と満洲を占領した日本も間もなく加わった。

アメリカ大陸はといえば、(g)1820年代からすでにアメリカ合衆国の独壇場となっており、合衆国は、アメリカ大陸の問題に介入する権利をもつのは合衆国だけだと宣言していた。英国ですら合衆国の権利は認めざるをえず、(h)パナマ運河を建設し〔1914年開通〕、その監視にあたる権利も合衆国に認められたのであった。

（クシトフ・ボミアン（著）、松村剛（訳）『増補 ヨーロッパとは何か 分裂と統合の1500年』平凡社、2002年。省略や書き改めた箇所がある。）

問1 下線部(a)に関連し、次に述べた文①～⑤から誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① レセップスの提案をうけ、ナポレオン3世が建設を支援した。
- ② 運河建設により莫大な債務を負ったエジプトは、イギリスとフランスの財務管理下におかれた。
- ③ イギリスは、グラッドストーン首相のもとスエズ運河会社の株を買収し、運河の運営権を握った。
- ④ エジプトの独立後も、運河の支配権はイギリスが維持した。
- ⑤ エジプトが運河の国有化を宣言し、スエズ戦争（第2次中東戦争）がおきた。

問2 下線部(b)について述べた次の文 a・b の正誤を判断し、下記の指示に従って、その番号をマークしなさい。

- a イランは南下するロシアとの戦争に敗れ、不平等条約であるトルコマンチャーイ条約を結んだ。
- b イギリスはアフガニスタンに侵攻し、インド植民地を防衛するための緩衝地帯とした。

a と b がともに正しい場合は……①をマーク

a と b がともに誤りの場合は……②をマーク

a が正しく b が誤りの場合は……③をマーク

a が誤りで b が正しい場合は……④をマーク

問3 ・に入る国名の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑫から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ア：スペイン イ：ドイツ
- ② ア：スペイン イ：フランス
- ③ ア：スペイン イ：ポルトガル
- ④ ア：ドイツ イ：スペイン
- ⑤ ア：ドイツ イ：フランス
- ⑥ ア：ドイツ イ：ポルトガル
- ⑦ ア：フランス イ：スペイン
- ⑧ ア：フランス イ：ドイツ
- ⑨ ア：フランス イ：ポルトガル
- ⑩ ア：ポルトガル イ：スペイン
- ⑪ ア：ポルトガル イ：ドイツ
- ⑫ ア：ポルトガル イ：フランス

問4 下線部(c)のように、ヨーロッパ列強がすすめたアフリカ大陸の植民地化を「アフリカ分割」と呼ぶ。これに関連して述べた次の文 a～c が年代の古い順に正しく並べてあるものを、下記の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- a ベルリン=コンゴ会議が開催され、アフリカの植民地化の原則が列強の間で合意された。
- b イギリスが南アフリカ戦争をおこした。
- c イギリスのリヴィングストンが探検をおこない、アフリカ内陸部の事情が明らかになった。

- ① a→b→c ② a→c→b ③ b→a→c
- ④ b→c→a ⑤ c→a→b ⑥ c→b→a

問5 下線部(d)に関連し、次に述べた文①～⑤から誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① イギリスは、ウラビー運動を制圧してエジプトを事実上の保護国とし、さらに南へ支配を広げた。
- ② イギリスは大陸最南端のケープ植民地を領有し、そこから北へと支配を広げた。
- ③ フランスは、地中海の対岸にあるアルジェリアを支配下においた。
- ④ フランスはチュニジアを保護国とし、さらにサハラ砂漠地域を横断して勢力を広げた。
- ⑤ イギリスとフランスは、ファショダで武力衝突した。

問6 下線部(e)について述べた次の文 a・b の正誤を判断し、問2の指示に従って、その番号をマークしなさい。

- a コンゴ川流域の一部は、ベルギー国王の所有地となった。
- b コンゴ川流域の一部は、コンゴ自由国と呼ばれた。

問7 に入る地名として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① アルジェリア ② エチオピア ③ スーダン
- ④ ナイジェリア ⑤ モロッコ

問8 下線部(f)に関連し、次に述べた文 a・b における下線部の正誤を判断し、問2の指示に従って、その番号をマークしなさい。

- a アジアでは、イギリスとフランスの緩衝地帯という環境を利用したタイが独立を維持した。
- b アフリカでは、オランダから入植した白人によって建国されたりベリア共和国が独立を維持した。

問9 下線部(g)に関連し、1820年代以降のアメリカ合衆国について述べた次の文①～

⑤から誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 19

- ① モンロー宣言を発し、アメリカ大陸とヨーロッパの相互不干渉をとらえた。
- ② パン=アメリカ会議を主催し、ラテンアメリカへの影響力を強めた。
- ③ アメリカ=スペイン戦争（米西戦争）をおこし、プエルトリコを獲得した。
- ④ フランクリン=ローズヴェルト大統領のもと、棍棒外交を展開した。
- ⑤ ウィルソン大統領のもと、宣教師外交を推進した。

問10 下線部(h)に関連し、次に述べた文 a・b の正誤を判断し、問2の指示に従って、

その番号をマークしなさい。 20

- a アメリカ合衆国は、パナマをコロンビアから分離・独立させたのち、運河を完成させた。
- b パナマ運河は、現在にいたるまでアメリカ合衆国の管理下にある。

〔Ⅲ〕 次の石窟寺院に関する文章を読み、下記の問1～問10に答えなさい。解答番号は ～

インドに始まる石窟寺院は、^(a)仏教とともに中央アジアを通過して中国に入ってきた。中国の西の門戸 では、4世紀半ば頃に最初の石窟が開かれた。^(b)アフガニスタンにある有名なバーミヤンの石窟と、ほぼ時期を同じくする。その後も石窟は において、^(c)13世紀以降まで掘り続けられたが、さらにここから出発して東に向かい、黄河流域へと広がっていった。その大部分が北朝時代に始められていることに注目せねばならない。いっぽう長江流域の石窟も、^(d)南朝時代から掘り始められたが、その数は非常に少ない。このように南北で差があるのは、石窟を開くに適した岩山の有無という、自然的条件にも関係するが、中央アジアの直接的影響下にあるか否かにも左右されるであろう。

以下、おもな石窟を西から順番に眺めていこう。

の石窟は、壁と天井を塗り、^{そぞう}塑像を安置し、壁画を描いているところに特色がある。開窟当初の4世紀半ばのものはまだ発見されず、もっとも古いものでも、5世紀の半ばの北魏初期様式 (の^{どんよう}曇曜五窟) に近いもので、座仏は通肩^{つうけん}で衣文^{えもん}が体に密着し、インドの^(e)マトゥラー風である。北魏後期のものは、中国風のスカート^{くん}(裙)をまとい、硬直した姿勢になる。

は^(f)大同の西20kmの地点にあり、大同石仏寺の名でも知られている。石窟は全部で43を数えるが、460年頃の北魏文成帝のときに僧曇曜によって、五つの洞^{どう}(第16～第20洞)がまず開かれた。曇曜五窟と呼ばれる。五つの洞それぞれに石像の^(g)大仏をまつが、これは北魏の5人の皇帝の姿になぞらえて作られたといわれる。なかでも第20洞の露座^{ろざ}の大仏は 石窟第一の威容を誇る。

初期の様式は量感に満ち、明朗で簡潔である。衣裳^{いしやう}は身体に密着してマトゥラー式あるいはその末流にあたる中央アジア式の影響がいちじるしい。仏伝^{*1}やジャータカ^{*2}など物語の浮彫りもあり、そこにはガンダーラの影響も認められ、西方風が濃厚である。そればかりでなく北魏をたてた鮮卑人の風姿すらにじみ出てくる。中期の洞(第7～第10洞)を経て、第6洞に代表される後期に入ると、様相はまったく一

変する。堂々たる仏像は上衣下裳^{じょうい かしょう}の中国式衣服をつけ、肉体はすっかり衣服にかくされてしまう。仏伝浮彫りには北魏の建築様式があらわれ、五重塔があり、中国風の瓦屋根の建築が出現し、軒の斗拱^{のき ときょう}*3は法隆寺様式の手本であることを示す。建築だけではない。日本の飛鳥時代の仏像もその源流を北魏の、とくにこの時期に求められるであろう。

(h)北魏の孝文帝は494年、洛陽遷都を断行した。これによって 石窟は見捨てられ、新しく洛陽の南17kmに 石窟が開かれた。

は5世紀に入ってから政治的混乱もあって、その最盛期は(i)唐初に求められる。北魏のものとしては古陽洞・賓陽洞^{こやうどう ひんやうどう}があり、 後期様式をうけた堂々たる石彫の仏像もあるが、だんだん華奢^{きゃしゃ}な作りになり、内観的・神秘的な作風が多くなって、もかけ座の様式が発達し、やはり飛鳥仏の源流になった。

- * 1 仏伝文学ともいい、仏教の開祖^{ブツダ}仏陀の生涯を伝記物語として記したもの。
- * 2 仏伝が現世の仏陀の物語を記すのに対し、ジャータカ^{ほんじょうわ}（本生話）は仏陀の前世における修行の物語。
- * 3 木造建築で、主に柱上にあって軒の荷重を支える組み物。

(森鹿三(編)『中国文明の歴史〈4〉分裂の時代—魏晋南北朝』中央公論新社、2000年。省略や付注、書き改めた箇所がある。)

問1 下線部(a)に関連し、次に述べた文①～⑤から正しいものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① アショーカ王は仏教を保護し、そのもとで仏典結集がおこなわれた。
- ② 仏教は、ヴァルナと呼ばれる四つの基本的身分に立脚して社会の安定を説いた。
- ③ 仏教の祭式の讃歌や呪法を集めた文献は、ヴェーダと呼ばれた。
- ④ 仏教の奥義は、「ウパニシャッド」(「奥義書」)という哲学書に編纂^{へんさん}された。
- ⑤ 仏教は、宇宙の根本原理と個人の根源が同一であると悟ること(梵我一如)をめざした。

問2 ・・に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ア：雲崗 イ：敦煌 ウ：竜門
- ② ア：雲崗 イ：竜門 ウ：敦煌
- ③ ア：敦煌 イ：雲崗 ウ：竜門
- ④ ア：敦煌 イ：竜門 ウ：雲崗
- ⑤ ア：竜門 イ：雲崗 ウ：敦煌
- ⑥ ア：竜門 イ：敦煌 ウ：雲崗

問3 下線部(b)の北部からウズベキスタン南部にかけてのアム川上流地域を中心に、前3世紀半ばにセレウコス朝の支配からギリシア人が独立して建国した。この国の名として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① エフタル ② クシュ ③ 大月氏
- ④ バクトリア ⑤ パルティア

問4 下線部(c)の時期の出来事として該当しないものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 元^{げん}がたてられた。 ② 西夏（大夏）が滅亡した。
- ③ セルジューク朝がたてられた。 ④ 奴隸王朝がたてられた。
- ⑤ マムルーク朝がたてられた。

問5 下線部(d)に関連し、次に述べた文①～⑤から誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 中国の南北朝時代に道教が大成された。
- ② 南朝の宋・齊・梁・陳の都の場所は、現在の南京に位置した。
- ③ 梁の昭明太子は、古来の名詩・名文を集めて『文選』を編纂した。
- ④ 呉（三国時代）・東晋と南朝の4王朝を合わせて六朝という。
- ⑤ 六朝文化は、都の建康を中心に発展した庶民文化を特徴とする。

問6 下線部(e)はガンダーラと並び最初期の仏像が作られた地として知られるが、ことにグプタ様式による仏像が有名である。これに関連し、次の文 a・b の正誤を判断し、下記の指示に従って、その番号をマークしなさい。

- a グプタ様式の仏像は、優美で純インド的な表現を特徴とした。
- b ガンダーラ美術では、髪型・口ひげ・高い鼻などの風貌や衣服の襞^{ひだ}などに、ギリシア彫刻の強い影響が見られた。

a と b がともに正しい場合は……①をマーク

a と b がともに誤りの場合は……②をマーク

a が正しく b が誤りの場合は……③をマーク

a が誤りで b が正しい場合は……④をマーク

問7 下線部(f)はかつての雲州の地である。この地を含む燕雲十六州を五代時代の後晋に割譲させた、北方の遊牧・狩猟民の国の名として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ウイグル ② キタイ（契丹・遼） ③ 金
- ④ 突厥 ⑤ 渤海

問8 下線部(g)の一つとして、四川省に現存する唐代造営の樂山大仏^{らくざん}は、世界遺産に指定されている。四川に関連し、次に述べた文①～⑤から正しいものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 後漢末期の混乱の中から、劉邦が四川に蜀（蜀漢）を建国した。
- ② 四川の蜀（蜀漢）を滅ぼした魏は、次いで呉も滅ぼし、中国を統一した。
- ③ 四川におこったドラヴィダ系の南詔は、唐の冊封を受けた。
- ④ 四川におこった大理は、南宋によって滅ぼされた。
- ⑤ 日本軍の攻撃を受けて、国民政府は首都を重慶に置いた。

問9 下線部(h)に関連し、次に述べた文①～⑤から誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 孝文帝の時代に、胡服の禁止などの漢化政策が進められた。
- ② 孝文帝の時代に、均田制が施行された。
- ③ 孝文帝の時代に、三長制が実施された。
- ④ 北魏は北方の柔然と対立した。
- ⑤ 北魏は西方のスキタイと対立した。

問10 下線部(i)に関連し、次に述べた文①～⑤から正しいものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 唐では、皇帝の政務を補佐する内閣大学士を置いた。
- ② 唐では、国家財政の逼迫^{ひっぼく}に対処するため、王安石による改革を実施した。
- ③ 唐軍は、タラス河畔の戦いでアッバース朝軍に敗北した。
- ④ 民間の手形として始まった会子が、唐の時代に紙幣として政府から発行された。
- ⑤ 唐の時代、法顕が仏典を求めてインドに赴いた。

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、下記の問1～問10に答えなさい。解答番号は ～

コーヒーカップやティーカップは日常的に使っているが、チョコレートカップなる磁器があったとは知らなかった。江戸時代には鎖国中の日本から輸入して、欧州や中米の人々がチョコレートを飲んでいたという。どんなカップが、どう運ばれたのか。

(a) 大航海時代に中米から欧州へ持ち込まれたカカオは、まず飲み物として広まった。水に溶かして (b) 砂糖や香辛料などを加え、よくかき混ぜる。泡と一緒に飲む際に背が高い専用の器が求められ、チョコレートカップが生まれた。

長崎大教授の野上建紀さんによると、当初は中国が最大の輸出国だったが、(c) 王朝交代に伴う混乱や (d) 貿易制限策で激減。代わりに、(e) 有田焼をはじめとする上質な日本の肥前磁器が注目された。(f) 17世紀半ばには、(g) 長崎の出島から西回りでの輸出が始まったという。

野上さんは東回りの太平洋ルートもあったのではと考えた。当時、フィリピンと を 船が結んでいたからだ。20年前に (h) マニラの遺跡で、その根拠となる有田焼の皿を初めて発見したときは「祝杯をあげた」そうだ。のちに、背の高いカップも見つかった。

中米での出土品などから、太平洋ルートで運ばれた肥前磁器の「主力商品」がこのカップだったこともわかった。アジアと新大陸を結んだ (i) 海の道は、チョコレートの道でもあった。

日本の職人たちは、味わったことのない飲み物の器をつくっていた。バレンタインデーのきょう、歴史に思いをはせながらホットチョコレートを飲もうか。

(『朝日新聞』2024年2月14日、朝刊。「天声人語」より。省略や書き改めた箇所がある。

朝日新聞社に無断で転載することを禁ずる。承諾番号：25-0438。)

問1 下線部(a)に関連し、16世紀のスペインによるアメリカ大陸の中南部への進出とその影響について述べた次の文①～⑤から、誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 31

- ① コルテスはアステカ王国を、ピサロはインカ帝国を、それぞれ滅ぼした。
- ② スペインは征服した地にアシエンダ制、続いてエンコミエンダ制を順次導入していった。
- ③ アメリカ大陸の中南部には、ヨーロッパから天然痘・ペストなどの伝染病がもたらされ、先住民の人口が激減した。
- ④ 南アメリカ大陸のポトシで銀山が発見され、大量の銀が産出された。
- ⑤ アメリカ大陸から大量の銀がもたらされたヨーロッパでは、価格革命がおこった。

問2 下線部(b)に関連し、17世紀の状況について述べた次の文 a・b の正誤を判断し、下記の指示に従って、その番号をマークしなさい。 32

- a 砂糖の生産の中心地は西インド諸島であった。
- b 香辛料の特産地モルッカ諸島のアンボイナで、イギリス東インド会社がオランダ商人を虐殺する事件が発生した。

a と b がともに正しい場合は……①をマーク

a と b がともに誤りの場合は……②をマーク

a が正しく b が誤りの場合は……③をマーク

a が誤りで b が正しい場合は……④をマーク

問3 下線部(c)に関連し、中国の歴代王朝で発生した反乱について述べた次の文①～

⑤から、正しいものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 33

- ① 秦の末期に呉楚七国の乱がおこった。
- ② 前漢の中期に赤眉の乱がおこった。
- ③ 隋の中期に安史の乱がおこった。
- ④ 元の末期に紅巾の乱がおこった。
- ⑤ 明の初期に李自成の乱がおこった。

問4 下線部(d)について、清朝が1661年に発した法令の【名称】(A～C)とその

【目的】(x～z)の組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑨から一つ
選び、その番号をマークしなさい。 34

【名称】 A：航海法 B：遷界令 C：大陸封鎖令

【目的】 x：大陸東南の沿岸部を襲撃する倭寇への対策として発せられた。

y：台湾に根拠地を移して抵抗する鄭氏一派への対策として発せられた。

z：大量のアヘンを輸出するイギリスへの対策として発せられた。

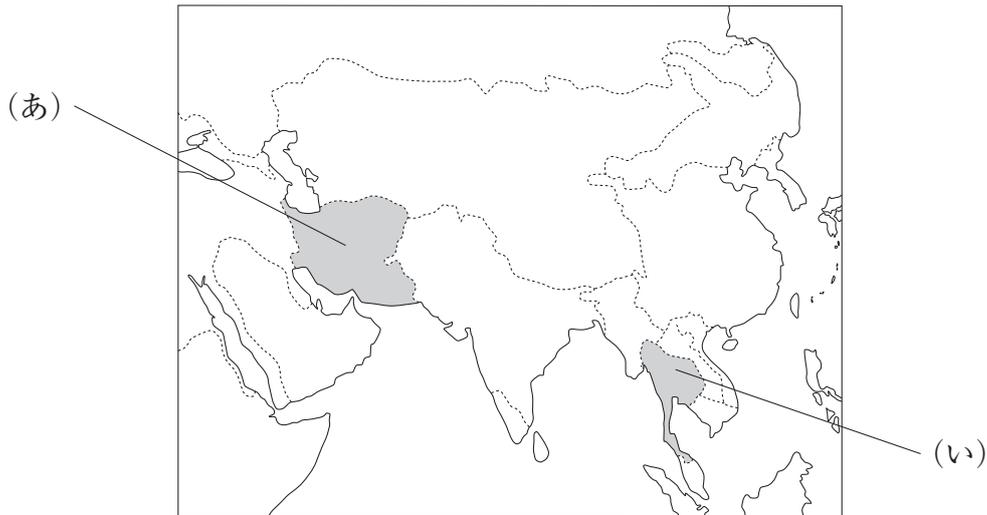
- ① A—x ② A—y ③ A—z
- ④ B—x ⑤ B—y ⑥ B—z
- ⑦ C—x ⑧ C—y ⑨ C—z

問5 下線部(e)に関連し、中国における陶磁器とその技法に含まれないものを、次の

①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 35

- ① 赤絵 ② 三彩 ③ 青磁 ④ 染付 ⑤ 白瑠璃碗

問6 次の地図は、下線部(f)のユーラシア各国を示したものである。地図中の(あ)と(い)の国(王朝)名の組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑨から一つ選び、その番号をマークしなさい。 36



- | | |
|---------------|------------|
| ① (あ)：オスマン帝国 | (い)：タウングー朝 |
| ② (あ)：オスマン帝国 | (い)：アユタヤ朝 |
| ③ (あ)：オスマン帝国 | (い)：黎朝 |
| ④ (あ)：サファヴィー朝 | (い)：タウングー朝 |
| ⑤ (あ)：サファヴィー朝 | (い)：アユタヤ朝 |
| ⑥ (あ)：サファヴィー朝 | (い)：黎朝 |
| ⑦ (あ)：ムガル帝国 | (い)：タウングー朝 |
| ⑧ (あ)：ムガル帝国 | (い)：アユタヤ朝 |
| ⑨ (あ)：ムガル帝国 | (い)：黎朝 |

問7 17世紀の前半、下線部(g)に寄港した経験があり、その後オランダ東インド会社の依頼で現在のオーストラリア周辺部を探検した人物として最も適切なものを、次の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。 37

- ① アムンゼン ② カブラル ③ クック ④ スタイン
⑤ タスマン ⑥ ドレーク

問8 に入る【地名】(A~C)と、船をデザインした切手の【絵柄】(x~z)の組み合わせとして最も適切なものを、問4の①~⑨から一つ選び、その番号をマークしなさい。

【地名】 A:インド B:マラッカ C:メキシコ

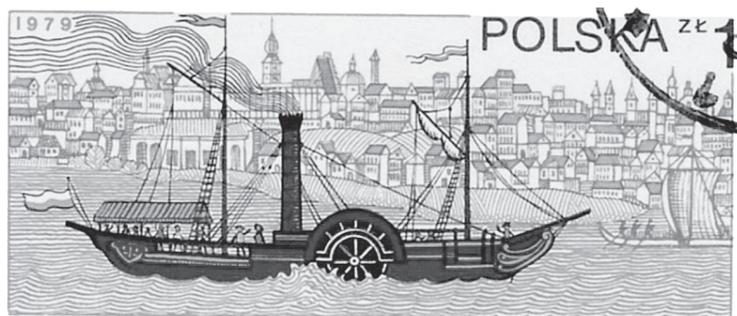
【絵柄】



x



y



z

問9 下線部(h)について述べた次の文 a・b の下線部の正誤を判断し、問2の指示に従って、その番号をマークしなさい。 39

- a 17世紀のマニラには、日本町が形成されていた。
- b 19世紀前半、マニラは自由港として国際貿易に開放された。

問10 下線部(i)に関連し、デカン高原に成立し、2世紀のインド洋交易で繁栄した王朝として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

40

- ① ヴァルダナ朝 ② クシャーナ朝 ③ グプタ朝
- ④ サータヴァーハナ朝 ⑤ マウリヤ朝